

キャラクター名
鷹上 綾

プレイヤー名

シンドローム	オルクス ノイマン		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
	オプション		年齢	15	性別	女
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	31	%
出自	92 双子	経験	61 初恋	邂逅	06 師匠	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	8
感覚	1	0	1			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	3	0	2			5	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ:手配師		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
		動物使い	P	N	
		稗田 八鵬斎 一膳	P 尊敬	N 嫉妬	
		ロクト	P 幸福感	N 疎外感	
		ブラッディゴマー	P 同情	N 嫌気	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	22	残り財産P:	20

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
天性のひらめき	3	4	メジャー	至近	自身	効果参照		
効果: 判定のC値-[Lv] 戦闘中は使用できない								
導きの華	4	4	メジャー	視界	単体	RC/交渉		
効果: 次のMAの達成値+[Lv*2] 購入判定には使用できない								
世界樹の葉	2	5	メジャー	至近	単体	RC		
効果: 対象の戦闘不能を回復し、HPを1まで回復する(この際、対象の侵蝕率が5点上昇する) シナリオLv回								
要の陣形	2	3	メジャー	-	3体	Syndrome		
効果: 対象を三体に変更 シナリオLv回								
ハンドリング	1	1	オート	至近	自身	自動		
効果: 動物を代わりにシーンに登場させる 知覚の達成値+[Lv*3]								
アニマルアタック	1	3	メジャー	-	-	RC/交渉Dロイス		
効果: ダメージ+[Lv*4] シナリオ三回								
真相告白	★	1	メジャー	至近	単体	交渉		
効果: 質問一つに対して、相手に正直に答えさせる シナリオ一回								
地獄耳	★	-	メジャー	-	-	RC		
効果: 領域内で起きている全ての事象を知る								
ドクタードリトル	★	-	メジャー	-	-	知覚		
効果: あらゆる言語に通じる								
プロファイリング	★	-	メジャー	-	-	知識:		
効果: ちょっとした情報から人物像の真実を探る								

【過去】
山で滑落事故にあり、辛うじて生きていたが即死していないだけで、いずれ死ぬだろうという状況だった。飢えて死ぬか、衰弱して死ぬかという状況下で死体だと思ったのか、熊や鷹などの肉食動物が集まってきた。
ああ、このまま生きてままだ肉を啄まれて、死ぬまでの間地獄を味わうに違いない……。近寄ってくる動物達の唸り声や羽ばたく音の一つ一つが彼女の恐怖を煽る。綾は絶望し、同時に強く『死にたくない』と思った
噛み付こうとしていた熊や鷹の動きが止まる。そして、横たわる自分を背に掛けて山の出口へと歩き出した。何事か……そう困っていた時はまだ自分が超能力を得たのだと気付いていなかった。
その後、UGNから説明を受け、自分が動物を操る能力を手に入れたのだと教えられる。自分の操る動物たちはレネゲイドによって強化されているため、戦闘にも耐えられる……はずだったが、綾は食われるかもしれないという恐怖から動物を操っているとそれ以外何もできなくなっていた(餌として見られていたことを《ドクタードリトル》で察知したことが深いトラウマになっている)
つまり、動物を操っている間は集中できず、他人の指示も耳に入らず、本体の危険も察知できない。頭脳は優秀で機械にも強いが、戦闘には参加せず情報班として後方支援に徹する

ただし、レネゲイドによる強化だけなら人間にも少しだけ適用できる。人間も動物ではあるから。

【PCとして使う時の説明】
S市の支部に所属するUGNエージェントの少女。支部の中では情報班に属するが、前線に出る場合は"冷血"ロクトと一緒に行動する
ロクトに思慕の情を抱いているが、それは言えずにいる。自覚してるのかもわからん
稗田支部長とは和食や和菓子を愛好する仲。特に血の繋がりは無いが、支部長からは孫のようにかわいがられているようだ。とはいえ、綾にオーヴァードの基礎を教えたのも彼なのでしっかり師匠としても尊敬をしている
能力を使うとき、『過去に守ってもらった』という無意識の安心感から稗田やロクトと一緒にいると集中できるようだ